

電気通信大学 平成18年度シラバス

授業科目名	English F		
英文授業科目名	English F		
開講年度	2006年度	開講年次	2年次
開講学期	4学期	開講コース・課程	昼間コース
授業の方法		単位数	1
科目区分	総合文化科目-言語文化科目-言語文化応用科目 I		
開講学科・専攻	情報工学科 量子・物質工学科 人間コミュニケーション学科		
担当教官名	網代 敦		
居室	非常勤講師		

公開E-Mail	授業関連Webページ

【主題および達成目標】
<p>(主題) 英文の段落構成を学びながら、英文で簡単なエッセイが書けることを授業の目的にします。段落とは何か、トピックセンテンス(主題文)の提示の仕方、文と文のつながり、実例の与え方、段落と段落のつながりなどを考えていきたいと思えます。また、3段落ぐらいの構成からなる英文のディクテーションを随時行います。英文の内容は文化とコミュニケーションを扱ったものです。内容をすばやく捉えると同時に、各段落の主題文を把握し、全体の構成を検討しながら、実際の文章構成の参考にしたいと考えています。</p> <p>(達成目標) (1)適切なトピックセンテンスが与えられること (2)段落における内容を適切に発展させられること (3)100語から200語程度の英文の段落が書けること</p>

【前もって履修しておくべき科目】
なし

【前もって履修しておくことが望ましい科目】
特になし

電気通信大学 平成18年度シラバス

【教科書等】

プリント使用

【授業内容とその進め方】

いろいろな内容の英文のパラグラフを資料として、パラグラフに関する練習問題を解きながら、その構成を考えていくことにします。ある主題を提示しそれに関するトピックセンテンスを書く、与えられたパラグラフのトピックセンテンスを指摘する、パラグラフ内の不適切な文を見つけ出す、用例をどのように提示するか検討する、パラグラフ間のつながりを考えるなどを、クラスで行います。授業中に求める作業は多くなります。トピックセンテンスは随時授業中に書いて、提出してもらいます。評価はその提出物と授業最後の試験、出席が中心となります。試験は150語程度の英文エッセイです。

【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

評価方法：試験 70%

提出物・出席 30%

評価基準：最低達成基準は以下の項目です

- (1)適切なトピックセンテンスが書けるようになること
- (2)自分の語彙力で、簡単な自己表現ができること
- (3)与えられた課題を全て提出すること
- (4)最低三分の二以上の出席をしていること

【オフィスアワー：授業相談】

火曜日、12時10分以降。（講師控え室）ただし事前にアポイントメントを取ってください。

【学生へのメッセージ】

辞書を丁寧に引くこと。まずは自分の語彙力を駆使して文を書いてみよう。そして一文一文のつながりをよく考えよう。

【その他】